

岩手県医療的ケア児支援センター

相談窓口 業務報告書

令和6年2月5日(月)

社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター内
岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口

管理責任者 小山 耕太郎

医療的ケア児等コーディネーター 大力 聡美

事務員 小笠原 綾子

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 業務概要

(ア) (ウ) 相談支援業務：令和5年4月1日～令和5年12月31日実績

その他、主催事業や研修等：令和5年4月1日～令和5年12月31日実績

(令和6年1月以降、令和5年度予定事業を含む)

以下のアからケに関する業務を行うこと。なお、これらに附随した業務も担うこと。

ア	医療的ケア児及びその家族から受け付けた相談に係る、市町村や相談支援事業所等に所属する医療的ケア児等コーディネーター等の地域の支援の支援担当者への取り次ぎ及びフォローアップ
イ	県内の市町村、医療機関、保健センター、障がい福祉サービス事業所、保育所・幼稚園、学校、医療的ケア児・者の家族会、地域の自立支援協議会等の関係機関及び団体への情報提供、連携・相互の支援、専門的なサポート、コンサルテーション等の関係機関支援
ウ	医療的ケア児及びその家族に対する相談受付、助言、活用可能な社会資源等の情報提供
エ	必要に応じた新生児集中治療室（NICU）又は新生児回復治療室（GCU）が開催するカンファランスへの出席及び情報提供を通じた在宅移行支援
オ	必要に応じた地域の医療的ケア児支援に係る協議の場への参加による、地域の現状・課題把握、専門的な情報提供及び助言
カ	関係機関等及びその従事者向け研修・啓発セミナーの企画・調整等
キ	県内における外部主催の各種研修への対応（講師・参加等）
ク	県内における家族等交流会の企画・調整
ケ	県主催の運営協議会への参加

※留意点

市町村をはじめ、地域における関係機関の対応力が向上し、相談支援体制等の充実・強化が図られるよう、支援や助言を行うこと。

【受託業務報告】

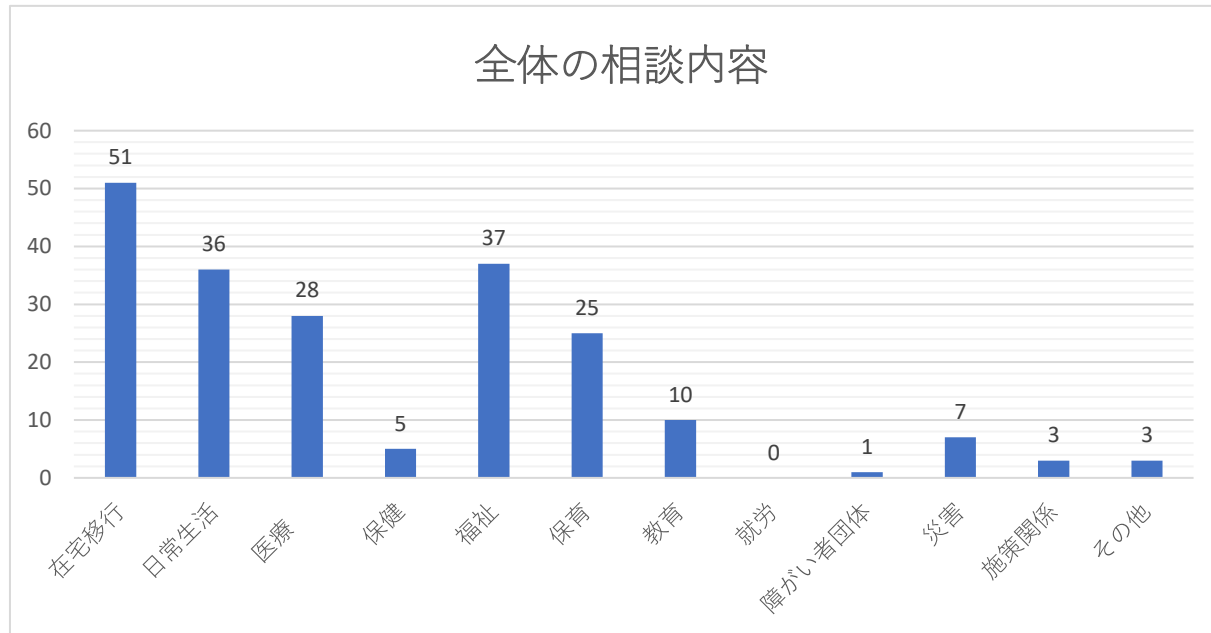
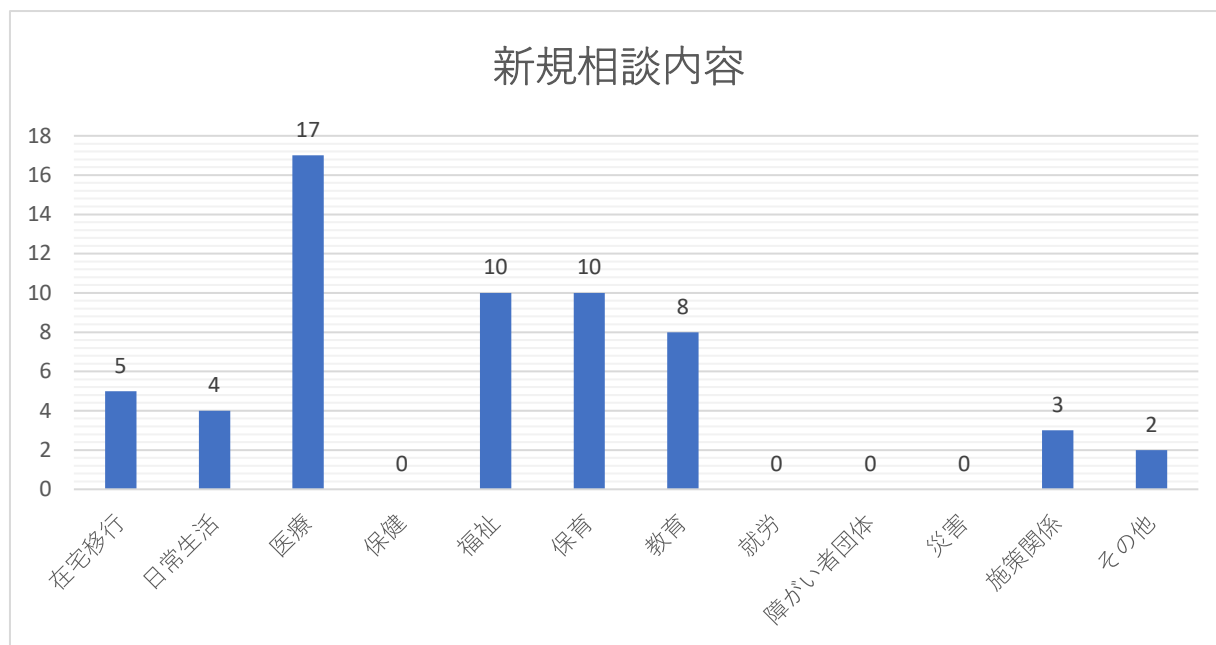
(ア) 医療的ケア児・家族からの相談の地域の支援者への取り次ぎとフォロー

(ウ) 医療的ケア児及びその家族からの相談受付・助言・活用可能な社会資源等の情報提供

1. 相談業務（別紙1、2参照）

・令和5年4月～令和5年12月までの相談件数

相談新規件数：59件（延べ相談件数：206件）



【相談の特徴】

- ・在宅移行支援は入院中からはじまり、自宅に退院した後も、地域の支援者と継続して経過を見ながら支援を行っている。
- ・支援を継続していると、相談内容が変化したり、複数の項目にまたがったりする。
- ・初回の相談は支援者からのことが多い。実際に支援を行った後に、ご家族から直接相談がセンターに寄せられることが増える。
- ・保育園入園を希望している医療的ケア児が増加している。11月1日に保育園入園申し込みが開始されると保護者や支援者から一斉に相談が来た。
- ・ショートステイについて、家族から相談が来ることは少ない。一方、県内各所を訪問をすると、ショートステイができる施設が少ないという声をきく。家族から直接相談が来ないのは、サービスが受けられないと思っているからではないだろうか。
- ・住いの地域でリハビリを受けたいという相談も多い。
- ・最初は、例えば保育や福祉の相談であったとしても、医療に関する相談につながっていくことが多い。
- ・盛岡近郊以外では、小児に対応できる訪問看護ステーションが少なく、通常の営業の範囲をこえて訪問しているため、家族の交通費支払いの負担が大きい。
- ・人材不足などの理由により、地域の小規模施設が閉鎖し、利用者が困るケースがあるが、移行できる施設が見つからない。
- ・保育園や学校で医療的ケア児を受け入れるにあたり、医療的ケアについての知識がない支援者が多い。医療的ケアについて実践的に学びたいという声が多く寄せられている。

2. 医療的ケア児のための就学・進学説明会（岩手県教育委員会共催）

目的：①特別支援学校や普通校（普通級・支援級）の説明と就学進学までの過程、早期相談のあり方について説明することで、教育制度や地域資源への理解を深める。

②就学進学を控えている児を地域の支援者が事前に把握することにより、就学進学を進めるための支援体制を構築する。

開催日・開催地：令和5年 6月1日(木) 宮古市 宮古地区合同庁舎
 6月13日(火) 盛岡市 ふれあいランド岩手
 7月11日(火) 奥州市 奥州地区合同庁舎
 7月19日(水) 二戸市 二戸地区合同庁舎
 7月26日(水) 釜石市 釜石PIT
 8月8日(火) 花巻市 花巻市交流会館

計6回（教育事務所管轄ごとに開催）

参加者：計75名（お子様4名、保護者18名、市町村配置コーディネーター13名、教育関係者5名、教育以外の支援者33名、マスコミ2名）

振り返り：岩手県教育委員会と共催できたことが最大の成果であった。教育関係者や行政職員、地域の医療的ケア児等コーディネーターの方に多く参加いただいた。

会場で支援者同士がつながることができ、顔が見える関係性が構築できた。

また、早い段階からご家族にも就学までの過程を知っていただくことで、当事者、支援まずその「お子さんの力を一番伸ばせる相応しい学びの場」を考えて、そのうえで就学先を選択することの大切さについて教育委員会より各会場で説明があった。

「医療的ケア児は支援学校へ」という固定概念を変えていきたい。

来年度に向けて：来年度も県内6会場で開催予定。教育委員会と協議を重ねている

② 医療的ケア児及びその家族の活用可能な社会資源等の情報提供 医療的ケア児のための就学・進学説明会

令和5年度

医療的ケア児のための 就学・進学説明会

ハイブリッド開催
各会場×ZOOM

【対象者】
主に就学・進学を控えている医療的ケア児とそのご家族

- ・ICCC（岩手県医療的ケア児等コーディネーターネットワーク）加入の医療的ケア児等コーディネーター、及び市町村教育委員会等の教育関係者等のオンライン視聴があります

※申込方法等、詳細は裏面

会場ごとに対象地域内の特別支援学校の紹介を致しますので、お聞きになりたい地域の日時でお申込みください

【開催日時・会場等】
14時～15時45分

日時	会場	対象地域	会場定員	申込締切
6月1日(木)	(宮古市) 宮古地区合同庁舎1階会議室A・B	宮古市・山田町・田野畑村・岩泉町	20名	5月11日(木)
6月13日(火)	(盛岡市) ふれあいランド岩手ふれあいホール	盛岡市・八幡平市・滝沢市・紫波町・花巻市・岩手町・釜石市・東磐前町・西磐前町・新巻町・矢野町	50名	5月23日(火)
7月11日(火)	(奥州市) 奥州地区合同庁舎2階第2会議室	奥州市・金ヶ崎町・一関市・平泉町	20名	6月20日(火)
7月19日(水)	(二戸市) 二戸地区合同庁舎2-A会議室	二戸市・軽米町・九戸町・一戸町・久慈市・洋野町・野田町・鹿角市	20名	6月28日(水)
7月26日(水)	(釜石市) 釜石PIT会議室1・2	大船渡市・遊佐町・釜石市・住田町・大船町	20名	7月5日(水)
8月8日(火)	(花巻市) 花巻市交流会館第4研修室	花巻市・北上市・遠野市・西和賀町	20名	7月18日(火)

主催：岩手県医療的ケア児支援センター 共催：岩手県教育委員会
 【問い合わせ】岩手県医療的ケア児支援センター（みちのく教育支援センター内）
 電話 019-611-0610 メール shen@icare-iwate.jp

医療的ケア児の就学・進学に関する
「ながれ」をわかり易く伝えます

Q 相談はいつから始めるの？
 入学先はいつ決まるの？
 特別支援学校と学区の小・中学校の違いは？
 地域の医療的ケア児等コーディネーターはどこにいるの？
 就学の時コーディネーターはどんなお手伝いをしてくれるの？



保護者の皆様からの疑問にお答えします

「学校のことはまだまだ先なのかな」と思っている方にもお聞きいただきたい内容ですのでお気軽にご参加ください
 各会場ごとに、地域の学校情報、地域の相談窓口を紹介いたします
 お子さんの入学にイメージがついている方は、入学させたい地域の会場でご参加ください

教育

県内6会場で開催
 当事者・保護者合わせて
75名参加
 (来場・オンライン)

岩手県教育委員会共催事業



1. ICCC事業 (Iwate Care Coordinator Collective)

目的：令和1年度に始まった医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者は令和4年度で171名いるが、実務に携わっている者が少なく、業務をするうえでもコーディネーター同士の横の連携が取れていない実情がある。そのため、修了者を対象としたネットワーク (ICCC) を構築し、①情報提供と②知識や技術の向上の2点に取り組むことを目的とする。

内容：①情報提供 (岩手県医療的ケア児等コーディネーター向けのメール配信サービス)
②岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者向け勉強会

【第1回ICCC勉強会】

題名：「多職種連携と地域を耕すこと～東松山市の事例を通じて～」

講師：社会福祉法人東松山市社会福祉協議会 東松山市総合福祉エリア

目的：埼玉県東松山市の市社協や自立協など地域の様々な事業所が、連携・協働し、地域づくりをしている様子から、多職種や事業所の立場の違う方々がどのように連携体制を構築しているのかを学ぶ。また、全国で初めて就学委員会を廃止し、障害があっても希望の学校へ入学できるようにした東松山市が、何を目標にインクルーシブ教育を掲げ、どのような経過を経て現在に至っているかを知る。

就学支援委員会廃止に伴い、整備したサポート体制 (就学支援シート・巡回相談)

具体的事例を通じて

児童発達支援センター整備についての東松山市の準備と考え方

現在の東松山市の様子と課題

質疑応答

日程：令和5年6月24日(土)

参加者：18名

自治体配置の医療的ケア児等コーディネーター 8名

こども園、訪問看護ステーション、療育施設等所属看護師 4名

相談支援事業所所属相談支援専門員 3名

その他 3名

振り返り会：令和5年7月13日(木)10時～11時半

研修受講者にも参加いただき、日頃の悩みや思いを講師と共有する場とした

地域のコーディネーターが抱える思いや同じ立場の方と話ができる場を作る事が大切と感じた。

課題：医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者171名のうち、受講者は18名

(運営側スタッフかつ、ICCC加入者は参加者の他に4名) 受講者の状況やニーズをセンター内で把握し今後の研修に反映させる必要がある。

【第2回ICCC勉強会】

題名：「コーディネーター同士が出会い、語る」

目的：第1回の勉強会を通し、他のコーディネーター同士がつながり、まずは思いを話す場を作る重要性を感じたことと、他の地域の医療的ケア児等コーディネーターを知り繋がることで自分の業務を振り返る。

開催日時・場所：令和5年10月17日（火）13時～16時 盛岡市 ふれあいランド岩手
令和5年11月2日（木）13時～16時 北上市 北上市総合福祉センター

参加者数：18名

会場別 盛岡市会場13名 北上市会場5名

職種別 相談支援専門員12名 自治体コーディネーター4名

主任児童指導員1名 看護学部准教授1名

内容①アイライン岩手の会提供のコーディネーターの認知度・望むことアンケートについて

②テーマ別「語り場」

盛岡市会場：A「就学・就園」、B「ショートステイ・レスパイト」、C「災害時支援」

北上市会場：A「就学・就園」、B「ショートステイ・レスパイト」

振り返り：1グループ5名で規模としては適当だった。適度な距離感で話が弾み、終了後も情報交換が進んだ。ひとつのテーマで他の自治体の取り組みを知る機会となり、好評だった。

課題

- ・当事者アンケートからコーディネーターの認知度が低い事がわかった。
- ・「相談支援専門員と医療的ケア児等コーディネーターの違いを示してほしい」という声が複数寄せられており、自治体配置コーディネーターと県のコーディネーターの混同も見られた。
- ・災害時支援について支援者自身も情報をもっておらず情報交換にいたらなかった。

【第3回勉強会予定】

題名：「医療的ケア児等コーディネーターの実際」

日時：令和6年2月22日（木）13時～16時

対象者：ICCC加入者

ICCC非加入の医療的ケア児等コーディネーター・医療的ケア児支援者養成研修修了者

内容：第1部「地域の支援者をつなぐ」

- 1 花巻市「医療的ケア児支援ステーション」の支援体制
- 2 県・地域のコーディネーター並走について～宮古圏域の事例から～

第2部「なんでも質問コーナー」

福祉・教育・医療・看護の専門家がアドバイザーとして皆様の質問に答える。

多職種連携と地域を耕すこと
～東松山市の事例を通じて～

ICCC
Icane Care Coordinator Collective
collective@icare-heate.jp

【プロフィール】
田口 純子（たぐち じゅんこ）氏
社会福祉法人東松山市社会福祉協議会 東松山市総合福祉エリア 相談支援専門員
令和4年度 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業推進委員会委員

【お問い合わせ】
全県 障害者医療的ケア支援センター
相談先 輪手福祉療育ケア実践センター（5F）（5F）（5F）（5F）（5F）（5F）
事務局 小笠原 019-611-0610 collective@icare-heate.jp

令和5年度第2回 ICCC勉強会
コーディネーター同士が出会い、語る

【日時及び会場】（各会場13時～16時）
①盛岡市会場：2023年10月17日（火）
ふれあいランド岩手 第1・第2研修室
②北上市会場：2023年11月2日（木）
北上市総合福祉センター 第1・第2研修室

【対象】
ICCC加入医療的ケア児等
コーディネーター養成研修修了者
各会場 定員15名
※定員を超えた場合は、入場制限を行うことがあります。

【語り場のテーマ】
・就園・就学
・レスパイトやショートステイ
・災害時支援 等

【QRコードよりお申込みください】
9月30日申込締切

第3回ICCC勉強会
「医療的ケア児等
コーディネーターの実際」
同日開催
医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修
（詳細は岩手県社会福祉事業団まで）

日時 2024年2月22日（木）13:00～16:00

【対象者】 ICCC加入医療的ケア児等コーディネーターの他、
医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者
医療的ケア児等支援者研修修了者

【オンライン（ZOOM）開催（定員80名）】

【申込方法】 右QRコードよりお申込みください
申込締切日 2月9日（金）17:00

【内容】 第1部 地域の支援者をつなぐ
第2部 なんでも質問コーナー
申込時質問を受け付けます。福祉・教育・医療・看護の
スペシャリストが対応いたします

【お問い合わせ先】
岩手県医療的ケア実践センター
事務局 小笠原 健子
電話 096-8898-4398 メール collective@icare-heate.jp

2. 公式LINE

目的：医療的ケア児とそのご家族に直接・素早く・正しい情報を届ける

内容：①岩手県医療的ケア児支援センターの事業情報

②岩手県からの関連情報

③自治体・支援者・家族会からの関連情報

登録者：令和6年1月20日現在 **316名**

情報発信：66件

振り返り：主催事業の報告も行っている。

保護者より「学校卒業後は情報を得る機会が減っていたが、ラインで情報をもらえて嬉しい」との言葉をいただいた。事業の重要性を再認識している。

令和5年4月
配信スタート

岩手県
医療的ケア児支援センター
公式 LINE

岩手県医療的ケア児支援センター公式LINEでは
医療的ケア児・者とその保護者の方向けの
情報を発信いたします

※ 「岩手県医療的ケア児支援センターソーシャルメディア運用ポリシー」に基づき運用いたします
※ 掲載内容は、医療的ケア児支援センターの基準に従い決定いたします
※ 岩手県医療的ケア児支援センター公式LINEは個別の相談・問合せには対応しておりません

LINE 公式アカウント
お友だち追加は
こちらから

【お問合せ先】
岩手県医療的ケア児支援センター相談窓口
電話 019-611-0610 メール shien@care-iwate.jp

【岩手県医療的ケア児支援センター】
■センター業務統括 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
■相談支援等業務受託機関 社会福祉法人新社会
■医療的ケア児等コーディネーター研修業務受託機関 社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団

主催事業の他、リトルベビーハンドブックや療育キャンプ等県からの情報、親の会の告知やイベントや勉強会等、各種団体等からの情報等掲載

RYOIKU CAMP
療育キャンプ
わくわく！どきどき！の交流会

○8月11日(金)
11:30~15:30(受付11:00~)

○お申し込み方法
岩手県立中央ホール(盛岡市立中央ホール1-3)

○対象
就労不自由と重度知的障がいを持つお父さん・お母さん(10名程度)と家族、支援者

お子さんの部 ご家族の部

12時~13時 ○みんなでお昼を食べてみよう

13時~15時 ○お話を聞いてみよう
○お話を聞いてみよう
○お話を聞いてみよう
○お話を聞いてみよう

15時~ ○お楽しみ会
お楽しみ会
お楽しみ会
お楽しみ会

参加費 0円(おやつ代別) 参加費 0円(おやつ代別)

持ち物 (お弁当、お水、お着替え、お着替え、お着替え)

問合せ先 岩手県障がい児者支援センター 019-637-7636

EyeMOT GP 2023
7.16 開催

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

LINE
Airlin
アイライン
岩手の会

本人や家族の決めた暮らし方を
岩手の住み慣れた地で、実現する

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

3. アイライン岩手の会 「集まれ！アイライン」 (協賛事業)

日時：令和5年11月25日(土) 13:00~15:30

場所：花巻市総合体育館

主催：アイライン岩手の会

協賛：ドミノいわて、シブリングサポーターいわて、北良(株)、KIPU*Labo

岩手県医療的ケア児支援センター

参加者：合計92名

保護者13名、医療的ケア児者(卒児含む)9名、きょうだい児2名、オンライン参加者12名

花巻東高校ダンス部20名等、その他のボランティア36名

内容：第1部 アイライン広場

ドミノ、ボールプール、花巻市おもちゃ美術館・ふらね提供おもちゃあそび

第2部 教えて内多さん！ショートステイのいろいろ(ハイブリッド開催)

エンディング 花巻東高校ダンス部

4. 家族会との交流

令和5年	4月6日(木)	アイライン岩手の会との情報交換会
	6月22日(木)	アイライン岩手の会との情報交換会
	9月30日(土)	重症心身障害児(者)を守る会 東北ブロック大会
		いわて心臓病の子どもを守る会 デイキャンプ2023
12月21日(木)	宮古市医療的ケア児等の家族懇談会	
令和6年	1月23日(火)	紫波町オレンジの会との情報交換会

(エ) NICU・GCU主催のカンファランス出席、在宅移行支援

1. 小児科合同カンファランス参加状況

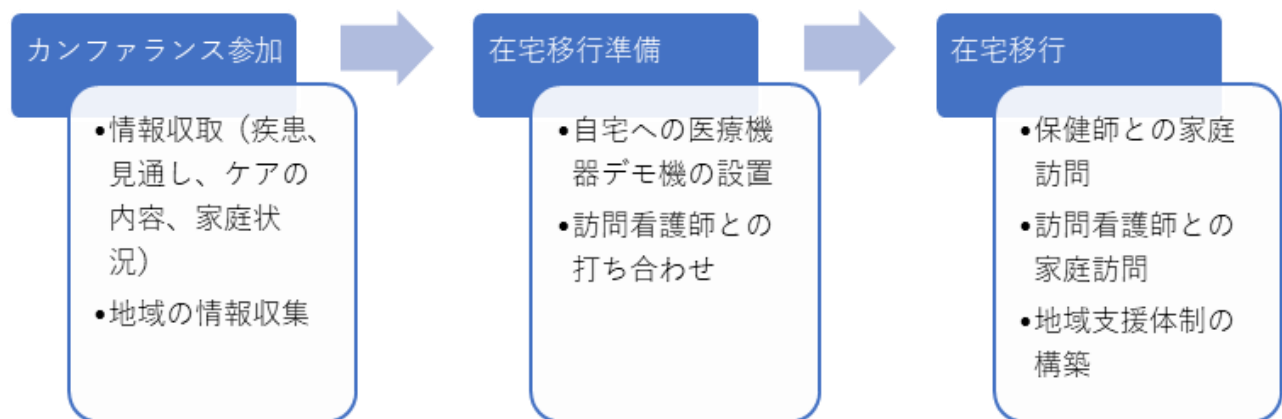
開催日：毎月第1水曜日 13時～

実績：①小児科合同カンファランス後の在宅移行支援を行った件数：5件

(盛岡市1件、八幡平市2件、山田町1件、釜石市1件)

- ②退院後の生活に合わせた福祉用具や生活用品に関する助言
- ③退院前に訪問看護師、業者と自宅訪問し医療機器の設置準備
- ④退院後に保健師や訪問看護師と自宅訪問

2. 小児科合同カンファランスから在宅移行支援への流れ



【メリット】

- ・入院中の早い段階から経過を把握し、長期的にかかわることができる。
- ・当事者支援の開始時から地域の支援者を支援することができる。
- ・支援者同士をつなぐことができる。
- ・地域の課題の把握と介入の仕方についてアセスメントすることができる。

【課題】

- ・コーディネーター配置の地域格差
- ・事業所が違う支援者同士の情報共有ツールがないため、それぞれの情報に違いがある。患者の全体像を把握するための工夫 (わたしのサマリー、情報提供依頼書等) の検討が必要。

(オ) 地域協議の場への参加による地域の現状・課題把握・情報提供及び助言

1. 地域の協議の場への参加：21件

【自立支援協議会】6件

令和5年	7月12日(水)	宮古圏域障がい者自立支援協議会 第5回発達支援部会
	7月14日(金)	一関地区障害者地域自立支援協議会 こども部会
	8月25日(金)	宮古圏域障がい者自立支援協議会 実務担当者会議
	9月21日(木)	二戸地域自立支援協議会 幼少期部会
	10月18日(水)	紫波町自立支援協議会
	12月18日(月)	一関地区障害者地域自立支援協議会 こども部会

【その他地域の協議の場への参加（自立支援協議会以外）】15件

令和5年	5月25日(木)	紫波地域医療的ケア児等ワーキンググループ
	6月28日(水)	いわてチルドレンヘルスケア連絡会議 運営委員会 医療的ケア児・者班打ち合わせ
	7月1日(土)	いわてチルドレンヘルスケア連絡会議 運営委員会
	7月20日(木)	第1回盛岡市医療的ケア児支援庁内連携会議
	7月24日(月)	盛岡市医療的ケア児避難訓練の模擬避難訓練
	8月21日(月)	宮古病院 退院前カンファランス
	8月25日(金)	山田町保健センター 退院後カンファランス
	8月29日(火)	一関市個別避難計画作成に係るキックオフ会
	9月1日(金)	盛岡市との意見交換会
	9月6日(水)	令和5年度第1回盛岡広域圏医療的ケア連絡協議会
	10月25日(水)	令和5年度第5回花巻市医療的ケア支援ステーション会議
	11月15日(水)	令和5年度盛岡市第2回医療的ケア児支援庁内連携会議
	11月17日(金)	洋野町大野保健センター ケースカンファランス
	11月24日(金)	一関市桜保育園 ケースカンファランス
	12月19日(火)	宮古市小山田保育園 ケースカンファランス

(カ) 関係機関及びその従事者向け研修・啓発セミナーの企画・調整等

1. 医療的ケア出張講座（令和5年8月25日周知開始）

目的：①実際にモデル人形を用いて医療的ケアを体験することで医療的ケアへの理解を深めてもらう。また、地域で医療的ケア児を受け入れる準備として実技研修を行うことで支援者も安心して受け入れを進めることができる。

②実際に医療機器を装着しながら移動をしてみることで、支援者が具体的にどのような視点で支援を行ったらよいのか知ることができる。

また、災害時に避難する際、どのくらい時間がかかるのか等行動指針を決める参考とさせていただく。

対象：岩手県内の学校・保育園・通所事業所・行政等団体を主な対象者とし、それ以外にも医療的ケアを学びたい方についても対応する。

開催方法：申込者の用意した会場へ医療的ケアモデル人形や医療機器を持参し実技の体験をしていただく。

内容： A 基礎講習（90分）

- ・医療的ケアの説明、医療的ケアの体験、質疑応答
実施可能なケア

（経鼻経管栄養・胃瘻からの経管栄養・気管カニューレ管理・吸引・導尿）

B 移動体験講習（180分）

- ・A基礎講習の内容＋医療機器を実際に利用しながらの移動体験

実施状況：全受講者数198名（矢巾町避難訓練除く）

A 基礎講習6件（143名）

B 移動体験講習4件（55名）

令和5年6月6日(火) 盛岡広域児童発達・放課後等デイサービス事業所学習会

令和5年7月14日(金) 盛岡市避難訓練の模擬訓練に係る打ち合わせ

令和5年7月24日(月) 盛岡市模擬避難訓練

令和5年9月17日(日) 矢巾町避難訓練

令和5年9月29日(金) 矢巾町 放課後等デイサービス第3いちご園

令和5年10月6日(金) 久慈圏域医療的ケア児等の支援に係る関係機関連絡会

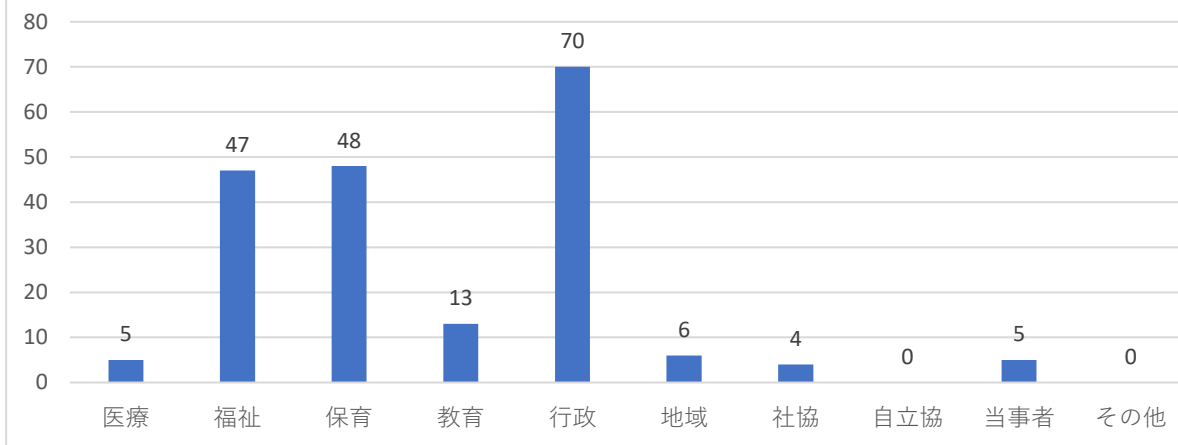
令和5年11月8日(水) 宮古圏域自立支援協議会発達部会 勉強会

令和5年11月27日(月) 一関市医療的ケア児・者の避難訓練にかかる勉強会

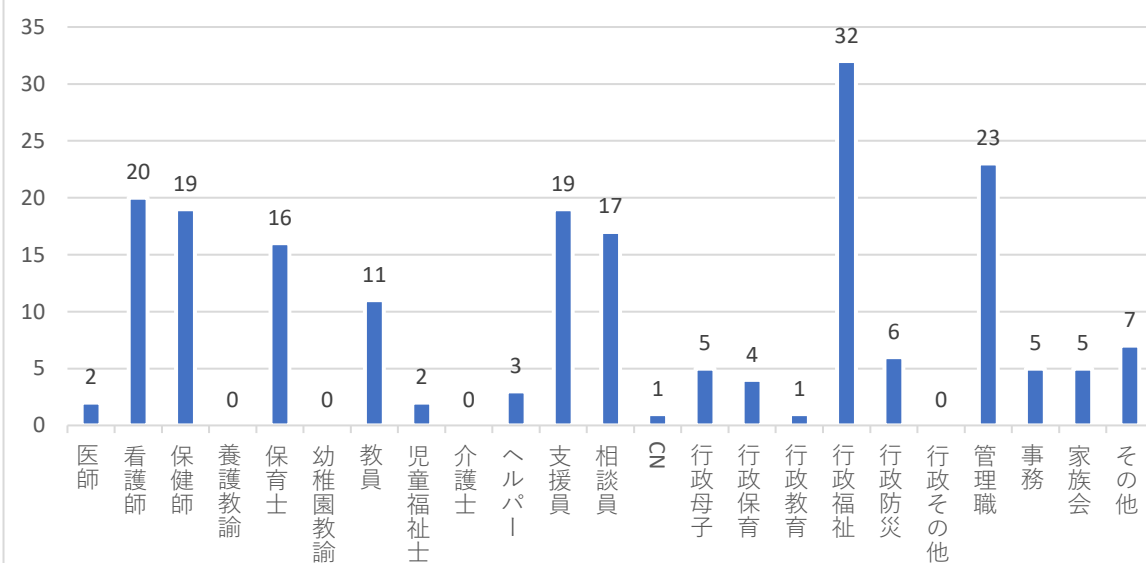
令和5年12月12日(火) 一関市避難訓練

令和5年12月21日(木) 一関市医療的ケア児研修会

参加者（分野別）



参加者（職種別）



④ 関係機関及びその従業者向け研修・啓発セミナー 医療的ケア出張講座

医療的ケア出張講座

内容 「A基礎講座」「特殊身体保護講習」
 場所 会場は申込受付終了後通知いたします
 費用 無料
 申込 申込フォームで申し込みください
 定員 定員は申込受付終了後通知いたします

申込先
 ●申込先住所
 ●申込先住所
 ●申込先住所

申込先住所
 ●申込先住所
 ●申込先住所

申込先住所
 ●申込先住所
 ●申込先住所

民間企業協力



ベッドからバギーへ移乗



ヘルパー役の市職員と荷物を積み、お母さんの運転で避難所へ



避難所で機器をセッティングし、充電機で機器の稼働確認

災害時の模擬避難訓練も想定した講習メニューを盛り込み、8月以降開校予定

2. 「地域で暮らすためのショートステイ第1回勉強会」

目的：当事者の求めるニーズを把握し、課題把握や情報整理等、関係者で共通認識を持つこと、岩手県や岩手県医療的ケア児支援センターで今後どのような展開をしていくべきかを考える

日時：令和5年12月3日(日) 13:30～15:30

開催方法：オンライン

参加者：32名

内容：「岩手県内のショートステイに関する当事者アンケートについて」

講師 アイライン岩手の会 副会長 齊藤 名月 様

「インクルーシブな社会づくりのために短期入所が果たす役割について」

講師 医療型短期入所施設もみじの家ハウスマネージャー 内多 勝康 様

振り返り：関係者が情報共有をする機会はなかなかなく、貴重な勉強会であった。

保護者のニーズは、状態・地域・年齢等で異なり、一律に考えることが難しいと分かった。

3. 災害時支援のための勉強会

目的：令和5年度、盛岡市で実施された人工呼吸器装着のお子様の避難訓練をご家族・行政の立場で振り返り、事例の一つとして知ってもらうことで各地で今後取り組む個別避難計画の作成の一助となる事を目的とする

日時：令和6年1月17日(水)15時～17時

内容：災害時に備える個別避難計画作成について

講師：岩手県復興防災部復興暮らし再建課 飯尾 夏貴 様

「人工呼吸器使用者」に学ぶ～避難計画作成優先度の高いこどもたち～

講師：岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口管理責任者 小山 耕太郎

医療的ケア児が避難するためには～避難訓練で感じたこと～

講師：岩手県重症心身障害児(者)を守る会 医療的ケア部会 部会長

(アイライン岩手の会 会長) 澤口 るり子 様

呼吸器装着のお子さんの避難訓練における盛岡市関係課の取組状況

講師：盛岡市保健福祉部 障がい福祉課長 畑山 紀枝 様

参加者：68名(資料のみ、部分参加予定等も含む)

自治体職員(広域振興局を含む) 48名

その他申込者 8名

運営・講師など 12名

岩手県医療的ケア児支援センター主催 関係機関等及びその関係者向け研修会

第3回 災害時支援のための 勉強会

盛岡市で令和5年に実施された人工呼吸器装着のお子様への避難訓練を振り返ることで、人工呼吸器装着の医療的ケア児の災害時支援について考えてみませんか？

【日時】 2024年 1月17日(水)15:00～17:00

【対象】

- 各自治体障がい福祉担当課 ご担当者様
- 各自治体医療的ケア児の防災に際する部署のご担当者様

【参加方法】

- 専用フォームよりお申し込みください
<https://form.run/@r5-8>
- ※お一人ずつのお申し込みにご協力ください

2024年1月12日
申込締切

ZOOM
開催

【プログラム】

- 災害発生時に備える個別避難計画作成について
岩手県復興防災部復興暮らし再建課 主事 飯尾 夏貴 氏
- 「人工呼吸器使用者」に学ぶ～避難計画作成優先度の高いこどもたち～ 管理責任者
岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 管理責任者 齊藤 名月 様
- 医療的ケア児が避難するためには～避難訓練で感じたこと～
岩手県重症心身障害児(者)を守る会 医療的ケア部会 部会長 小山 耕太郎 様
- 呼吸器装着のお子さんの避難訓練における盛岡市関係課の取組状況
岩手県重症心身障害児(者)を守る会 部会長 アイライン岩手の会 会長 澤口 るり子 氏
- 呼吸器装着のお子さんの避難訓練における盛岡市関係課の取組状況
盛岡市保健福祉部障がい福祉課長 畑山 紀枝 様

問い合わせ 岩手県医療的ケア児支援センター
担当 斎藤 名月 氏
電話 019-611-0610
メール shorcare@metro.jp

主催 岩手県医療的ケア児支援センター
共催 岩手県・盛岡市

(キ) 県内における外部主催各種研修への対応**1. 県内県外研修講師：13件**

※印はオンライン

令和5年	5月25日(木)	岩手県立大学 社会福祉学部 現在福祉持論B 「自治体の児童福祉行政の実際 岩手県の医療的ケア児支援について」
	6月6日(火)	盛岡広域圏児童発達放課後等デイサービス事業所学習会
	7月27日(木)	岩手県立盛岡となん支援学校 進路研修会
	8月11日(金)	療育キャンプ(ふれあいランド岩手)
	8月26日(土)	令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修(看護協会)※
	9月2日(土)	岩手県看護協会主催 「医療的ケア児に携わる訪問看護師の交流会」※
	9月13日(水)	岩手医科大学 医学部 3年生実習
	9月14日(木)	東京都立小児総合医療センター 第3回小児在宅医療サポートチーム勉強会※ 「～医療的ケア児支援～東京都でできること、青森県そして岩手県だからできること」
	10月2日(月)	令和5年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修※
	10月8日(日)	佐賀県医療的ケア児等コーディネーター養成研修※
	11月25・26日	令和5年度 医療的ケア児等コーディネーター養成研修
	12月13日(水)	盛岡私立保育園協会園長会 勉強会「医療的ケア児の就園について」
	12月22日(金)	令和5年度「ワークライフバランスセミナー」 ～当事者家族と「である」ことからライフの中のワークを考える～

2. 県内研修への参加：10件

※印はオンライン

令和5年	5月11日(木)	個別避難計画作成に係る市町村担当者研修会
	5月20日(土)	令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修(宮古)
	5月21日(日)	※いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会 第33回研修会※
	5月28日(日)	※第5回「医療的ケア児支援者のための支援」研修
	6月10日(土)	※令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修(岩手教育会館)
	6月16日(金)	岩手県立大学 防災復興支援センター 設立シンポジウム 「岩手県の防災のこれからと大学間連携を考える」
	6月25日(日)	第8回障がいのある子どもと家族のケア研修会
	7月15日(土)	令和5年度「医療的ケア児支援者育成業務」研修 (岩手県看護協会)
	7月28日(金)	令和5年度県立学校医療的ケア体制整備に係る研修会
	9月3日(日)	第6回医療的ケア児支援者のための支援公開講座

3. その他（県外研修への参加等）：20件

・全国組織「医療的ケア児等コーディネーター支援協会」へ加入し研修会へ参加

※印はオンライン

令和5年	5月9日(火)	三重大学医学部附属病院 小児・AYAがんトータルケアセンター 三重県医療的ケア児・者相談支援センター 視察
	5月10日(水)	愛知県地域支援センター にじいろ医療的ケア児支援センター 重心施設 にじいろのいえ 視察
	5月11日(木)	愛知県基幹相談 愛知県医療療育総合センター 視察
	5月12日(金)	岐阜県医療的ケア児支援センター 視察
	5月24日(水)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「見落としていませんか？医療的ケアのある乳幼児への支援体制の整備」
	6月9日(金)	東北6県医療的ケア児支援センター情報交換会
	6月14日(水)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修会 「移行期における医療機器の変換方法の実際」
	7月13日(木)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 支援センター部会
	7月19日(水)	※第49回埼玉県小児在宅医療支援研究会 「小児の摂食嚥下の極意！」
	7月20日(木)	※国立成育医療研究センター 令和5年度小児在宅医療技術講習会part3 「心疾患を持つ医療的ケア児を理解する」
	7月30日(月)	※青森県小児在宅支援センター 情報交換会
	8月29日(火)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会主催 「医療的ケア児支援法施行で進む医療的ケア児の進学」について
	9月7・8日	※日本看護協会 小児在宅移行支援指導者育成研修
	9月23日(土)	日本小児在宅医療支援協会学術集会
	9月24日(日)	医療的ケア児等コーディネーター支援協会主催イベント 「10年度の医療的ケア児の暮らしを展望する」
	10月26(木)～ 10月27(金)	第48回日本重症心身障害学会学術集会 重症心身障害医療と福祉に新しい風を！ ー地域共生社会の実現にむけてー
	11月1日(水)	※国立成育医療研究センター 中村知夫先生より 「小児在宅患者の健康状態の判断と多職種間での情報共有を支援するアプリ開発の取り組み」について
	11月10日(金)	※第50回 日本重症心身障害福祉協会 東日本施設協議会
	11月18日(土)	第9回 障がいのある子どもと家族のケア研修会
	11月22日(水)	※医療的ケア児等コーディネーター支援協会 「医療的ケアのあるスペシャルニーズのある子どもの発達支援」

(ク) 家族交流会の企画・調整等

1. 当事者交流事業医療的ケア児・者の「遊びと語りの場」I care パーク (岩手県子育て支援室協力)

目的：①普段集団で遊ぶことのない子ども達に遊びの場の雰囲気や他の子と出会う場を提供し、楽しんでもらう。

②特に情報が少なく困っている時期の未就学児の親をメインとすることで、保護者同士の繋がりを作り、「話す」ことが出来る場を提供するとともに「相談できる」場も提供する。

内容：地域の子育て支援センター等の場所において遊びを提供しながら、保護者同士の交流を行ったり日頃の悩みを相談する場所を提供する。

午前中の1時間程の時間とし、小さいお子様にも負担のないよう配慮する。

対象：医療的ケア児者と保護者、きょうだい児

各会場5組を上限とする。

開催日・場所：令和5年8月22日(火) 盛岡市 バスセンター子育て支援センター遊びの広場

9月6日(水) 奥州市 子ども発達支援センター 大・小ホール

9月20日(水) 紫波町 紫波町社会福祉協議会 和室

10月5日(木) 宮古市 うみまちひろば 交流室

参加者：総数21名 (申込10組)

父親2名、母親10名、医療的ケア児ご本人7名、きょうだい児2名

会場	参加者	お子さんの年齢等	用意したおもちゃ等
盛岡	母親と医療的ケア児2組	0歳児2組	センサリーバッグ 会場のおもちゃ
奥州	母親と医療的ケア児3組	動ける2～5歳児3組	すべり台、トンネル ブロック、ボールプール
	保護者のみ1組	お子様普通校通学中	
紫波	両親と医療的ケア児 きょうだい児	ご本人5歳 きょうだい0歳	手形スタンプ工作 スヌーズレン・楽器
	保護者のみ2組	1型糖尿病患者家族会	「語り場」の準備
宮古	両親と医療的ケア児 きょうだい児	ご本人5歳 きょうだい2歳	手形スタンプ工作 スヌーズレン・楽器

振り返り：「子育て」という視点で参加していただけるよう工夫した。また、感染リスク等にも配慮した。上限5名の少人数制としたが、保護者同士も語り合える規模で良かった。

市町村でこのような機会を設けていただけるよう、働きかけを行っていきたい。

保護者より (一部紹介)：

①外に出たいけど医療的ケアがあると外出が難しいので遊べる場を作ってください、嬉しかった。

②あんなにおもちゃに夢中になる姿を初めて見ました。また機会があれば参加したいです。

③つつい話が止まらなくて長居してしまいました。お土産もありがとうございました。

④疾患は違っても同じような環境にいる子どもたちや家族、お母さんにつながるの心の支えになると思いました。

⑤ありのままの我が子を受け入れてもらえて、家族で楽しい時間を過ごせました。

⑤ 家族交流会の企画 I care パーク



岩手県子供子育て支援室
自治体子育て支援センター等協力

令和5年度 岩手県医療的ケア児支援センター主催 当事者交流会事業
アイケア 医療的ケア児・者の「遊びと語りの広場」
I care パーク

岩手県医療的ケア児支援センターでは、「I care パーク」と名付けた当事者交流会事業を行います。
今年度は保護者と医療的ケア児・者を対象に「遊びと語りの広場」を開催。お気軽にお申込みください。

【対象】 医療的ケア児・者、保護者、及びきょうだい児
※会場に限定はありません。お電話は保護者の方をお願いいたします
※保護者のみの参加も大歓迎です
※各会場定員5組（7月3日申込み開始）

【内容】 ① 医療的ケア児支援センター職員とお話会
※医療的ケア児等コーディネーター大活躍と話しませんか
② お子様の遊びの時間
※各会場遊びの内容は主に未就学児を想定した内容になっています
※遊びは、きょうだい児も一緒に楽しんでいただけます

【申込】 右上QRコードよりお申込みください
※都合のつく会場へご参加ください

盛岡市会場 8月22日（火）10時30分～11時30分（会場貸切）
会場：盛岡市バスセンター子育て支援センターあそびの広場
★おもちゃで遊ぼう★ 申込締切 8月8日（火）

奥州市会場 9月6日（水）10時30分～11時30分（会場貸切）
会場：奥州市子ども発達支援センター 大・小ホール
★おもちゃで遊ぼう★ 申込締切 8月23日（水）

紫波町会場 9月20日（水）10時30分～11時30分
会場：紫波町社会福祉協議会 2階 和室
★広いお部屋で遊ぼう★ 申込締切 9月6日（水）

宮古市会場 10月5日（木）10時30分～11時30分
会場：宮古市うみまち広場 交流室
★手形スタンプで遊ぼう★ 申込締切 9月21日（木）

問合せ先 岩手県医療的ケア児支援センター（担当 小笠原）
電話 019-611-0610
メール shien@icare-iwate.jp

岩手県医療的ケア児支援センター公式LINE

お子様には小物
入れ工作キット
プレゼント
（保護者の事前申請のうえにお土産に
お渡しを予定しております）
提供：東北印刷株式会社

(ケ) 県主催運営協議会への参加

毎月参加（第1回～第15回まで開催済）
事業報告（相談、主催事業、研修、訪問等について）

【訪問・来所対応】

1. 医療機関・福祉施設

令和5年	4月28日(金)	公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター
	8月28日(月)	岩手県立磐井病院
	10月5日(木)	社会福祉法人岩手愛児会 子どもは未来もりおかこどもクリニック
	10月11日(水)	独立行政法人 国立病院機構 岩手病院
	10月20日(金)	滝沢市 こどものデイサービス なないろ
		滝沢市 こどものデイサービス なないろ・ぷち
	11月6日(月)	一関市 谷藤内科医院
		独立行政法人国立病院機構 岩手病院（ぼけっとの会見学同行）
11月24日(金)	一関市 社会福祉法人さくら会 認定こども園 桜保育園	

2. 関連団体

令和5年	4月7日(金)	一般社団法人 岩手県理学療法士会
	5月26日(金)	公益社団法人 岩手県栄養士会
	7月7日(金)	遠野市訪問看護ステーション すみちゃん
		大船渡市地域活動支援センター星雲
	9月19日(火)	岩手県私立保育園協会 会長 高橋学様

3. 行政機関

令和5年	4月12日(水)	岩手県教育委員会
	5月22日(月)	盛岡市保健福祉部障がい福祉課
	6月9日(金)	盛岡市子ども未来部子ども青少年課
	6月19日(月)	岩手県教育委員会
	6月20日(火)	岩手県盛岡広域振興局保健福祉環境部保健福祉環境部
		岩手県県南広域振興局保健福祉環境部岩手県奥州保健所
	7月6日(木)	矢巾町福祉課
	7月10日(月)	一関市保健福祉部福祉課
	7月13日(木)	八幡平市福祉課
	9月19日(火)	岩手県教育委員会
	10月16日(月)	北上市福祉部障がい福祉課
		遠野市健康福祉部健康福祉の里子育て支援課
	11月7日(火)	岩手県庁保健福祉環境部子育て支援室
	11月17日(金)	二戸市健康福祉部福祉課、こども家庭課
		洋野町大野保健センター
11月22日(水)	岩手県教育委員会	

※その他、岩手県保健福祉環境部障がい保健福祉課、医療政策室とは随時打合せを行っている。

4. 教育機関

令和5年	6月30日(金)	岩手県立大学 社会福祉学部 准教授 実方由佳 様
		岩手県立大学 社会福祉学部 准教授 庄司知恵子 様
	7月27日(木)	岩手県立盛岡となん支援学校
	10月4日(水)	岩手県立大学 看護学部 准教授 大久保牧子 様
	11月28日(火)	金ヶ崎町立 金ヶ崎小学校

5. その他

令和5年	6月2日(金)	埼玉県東松山市福祉総合エリア 相談支援専門員 田口純子 様
	11月1日(水)	ノボノルディスクファーマ株式会社